利用ソフトウェア	Adobe Creative Suite® 3 Web Premium		
授業名	Webデザイン	名前	山田　和俊

Webサイトを作る環境として，Adobe Creative Suite® 3 Web Premiumが使えるのは最高と言っても過言ではありません。Webサイト作成に係るすべての作業に必要なツールが揃っています。授業ではこのツール群の中で代表的なPhotoShop, Illustrator, FireWorks, DreamWeaverの4種類のアプリケーションを使ってWebサイトを制作しました。

【授業展開】

課題：企業に自分自身をアピールする
　　Webサイトの作成

【制作手順】

(1)制作するWebサイトの下書きを書く。

制作するWebサイトの下書きを手書きで制作します。これは頭の中にある作りたいもののイメージを形にするのが目的です。絵コンテとも呼ばれる設計図です。

(2)素材を制作する。

画像を制作する方法は色々ありますが，授業ではPhotoShopを使って画像を制作します。

PhotoShopのようなドローツールと呼ばれるアプリケーションは画材道具です。この道具としての利用方法を学ぶために，ペンタブレットを使い，自分のイメージに合ったイラストや文字を書いて，アナログ感覚で描画する方法を習得します。また，自分の顔写真を素材として小顔にするという演習を行い，写真の加工が簡単に行えることを覚えます。その後に下書きに沿った画像を制作します。

(3)ページをレイアウトする。

ページのレイアウトデザインにはIllustratorを使います。IllustratorはDTPに使用されるソフトでもあり，なめらかで奇麗な文字フォントの作成が容易にできます。

(2)で制作した素材を配置し，さらにテキスト文字を入力していき，完成イメージに近いレイアウトを制作します。

(4)HTMLを書き，デザインをWebサイトとして公開する。

Webサイト構築の手法には，主流となっているXHTMLとCSSによる記述方法と，比較的簡単なテーブルレイアウトによる方法があります。

テーブルレイアウトは，FireWorksを使うことで簡単に作成できます。一方，DreamWeaverはXHTML+CSSの記述に最適なツールで，FireWorksで書き出したテーブルレイアウトのHTMLファイル

についても，最終的にはDreamWeaverを使ってtitleやalt属性（代替テキスト）等の入力を行うことができます。完成したHTMLファイルは，Webサイトとして公開します。

授業ではPhotoShop, Illustrator, FireWorks, DreamWeaverの4種類のツールを使いました。全てを使わなければWebサイトを作る事はできないのか？というとそうではありません。Adobe Creative Suite® 3 Web Premiumのツールの中で一番簡単にWebサイトを制作する組み合わせを考えた結果，この4種類のツールを使いました。

受講学生全員がこれらのツールを使いこなし，XHTML+CSSで記述したサイトを制作することが理想ですが，限られた授業の中で簡単に理解できるものではありません。理解できなかった学生への措置としてFireWorksを使ったHTMLの書き出し方法も説明しました。

その結果，2割の学生はDreamWeaverを使ってXHTML+CSSでの作品制作をしましたが，8割はFireWorksを使ったテーブルレイアウトになりました。FireWorksはデザインに区切りを入れるだけでテーブルレイアウトができあがり，視覚的にわかりやすいためと考えられますが，せっかくのツール群を生かせなかったのは残念でした。

標準的な技法であるXHTML+CSSでのWebサイト制作技法を身につけるには，すべての手順説明と基礎演習を行ってから制作するよりも，完成イメージがつかみやすいテーブルレイアウトで作成したWebページに手を加え，XHTML+CSSへ変換していく方法をとれば，初心者が多い場合でも，比較的容易に高度な製作ができ，理解が深まると考えています。

図：DreamweaverによるHTMLコード編集画面例